

地域資源を活かしたユナムンダクマのふるさとづくり (平成24年度認定)



与那区は、海・山・川の豊かな自然に恵まれており、一時は集落に3ヶ所の製材所を持ち、現在は国頭村森林組合が与那を拠点としているなど、木材の拠点産地として認定されている国頭村の中でも林業の中心的地域である。集落囲いのフクギや6か所に点在している湧水（カー）などの農村景観とともに、アブシバレーや豊年祭、ウンジャミ、7月モーイといった伝統文化が受け継がれている。

その中で、明るく住みよい地域づくりによる集落活性化のため、ユナムンダクマ協議会を設立し、多種多様な活動を展開している。都市部との交流として、集落内及び100年前の峠道である「高ひら」にてヨンナー散策ツアーを開催しており、本島中南部を中心とした訪問客から非常に好評である。また、人材育成として小中校生向けの英語教室の開催や、高齢者への手助けとして屋敷の生け垣伐採や子ども会による声掛け、ゴミ収集ボランティアを行っている。更に、豊かな自然を活かした特産品開発にも積極的に取り組んでいる。

その他にも、区民親睦会や散策体験、各種イベントへの出張売店、クリスマス関係イベント、健康マラソン、避難訓練等々、大変多くの特色ある活動を集落全体として行っている。

このように、様々な地域活動で良好な集落環境を創出し、古き良きやんばるの農村風景や文化を継承しながら、【地域資源を活かしたユナムンダクマのふるさとづくり】に取り組んでいる。



ヨンナー散策ツアー



寺小屋 英語教室



高齢者宅の生け垣伐採



特産品(カラギ茶:森林組合)



特産品(イソアワモチ・タケノコ)



おばーたちのX'mas会